

科目名	基礎情報処理	科目コード	51170
-----	--------	-------	-------

学科名・学年	環境都市工学科・1年
担当教員	井林 康・田中 一浩（環境都市工学科）
区分・単位数	履修単位科目・必修・2単位
開講時期・時間数	通年，60時間【内訳：講義30】
教科書	ネットワーク社会における情報の活用と技術（実教出版） 情報処理の基礎 - エンジニアの卵たちへ -（長岡高専情報処理共通化WG）
補助教材	プリント
参考書	

【A．科目の概要と関連性】

情報化社会と呼ばれる今日、情報や情報機器を正しく使えることは、技術者として必須事項である。本科目では、本校のコンピュータ及び情報ネットワークの利用を通じて、コンピュータによる情報の収集・活用・管理の基礎について学習する。

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(D)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
本校の情報ネットワークの利用方法を習得する		d2
情報を操作する上での注意事項を理解し、実践出来るようにする		d2
文書作成、表計算ソフトによる報告書の作成・データ処理を習得する		d2
コンピュータについて、座学と実習により理解する		d2

【C．履修上の注意】

ホームルームにおける授業と、端末室における実習授業を行うため、場所をその都度指示する。情報処理は多くの学生が既に親しんでいる内容が含まれるものの、人により進度や理解度がかなり異なるため、自分から意欲的に課題に取り組む姿勢が必要となる。授業中の態度が著しく悪い場合、また欠席や遅刻の回数に応じて、評価からの減点を行うことがある。

【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。50点以上を合格とする。

定期試験（20%）【内訳：前期末10，後期末10】

レポート（70%）

その他の試験（10%、小テスト）

【E．授業計画・内容】

前期

回	内容	備考
1	授業の導入とパソコンの仕組み	
2	情報処理とインターネットの基礎	
3	端末室のコンピュータの基本設定	
4	アプリケーションの利用とタッチタイプ	
5	日本語入力とメールの使用	
6	ワープロソフトの使用(1)	
7	ワープロソフトの使用(2)	
8	ファイルの操作と表計算ソフトの使用(1)	
9	表計算ソフトの使用(2)	
10	表計算ソフトの使用(3)およびプレゼンテーションソフトの使用(1)	
11	プレゼンテーションソフトの使用(2)	
12	インターネットによる土木・環境都市工学の学習	
13	情報と社会生活(1)	
14	情報と社会生活(2)	
-	前期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	

後期

回	内容	備考
1	プログラミングの基礎（フローチャート）	
2	プログラミングの基礎（BASIC）1	
3	プログラミングの基礎（BASIC）2	
4	プログラミングの基礎（BASIC）3	
5	UNIX の利用 1	
6	UNIX の利用 2	
7	UNIX の利用 3	
8	プログラミングの基礎（FORTRAN,C）1	
9	プログラミングの基礎（FORTRAN,C）2	
10	ネットワークの利用（情報収集）	
11	ネットワークの利用（モラル）	
12	ネットワークの利用（Web 作成）1	
13	ネットワークの利用（Web 作成）2	
14	ネットワークの利用（Web 作成）3	
-	前期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	